

「野村ダムで水力発電所を行う事業候補者を特定しました！」 ～地域振興とカーボンニュートラルの実現に向けた次のステップへ～

再生可能エネルギーの活用の観点から、野村ダムの放流水を活用して新たに水力発電を行う「野村ダム新水力発電所設置・運営事業」の事業候補者を特定しましたのでお知らせします。

国土交通省では、気候変動への適応やカーボンニュートラルの実現を目指し、治水機能の強化と水力発電の促進を両立させる「ハイブリッドダム」の取組を推進しています。

野村ダムでは令和7年1月15日から公募を開始していた、「野村ダム新水力発電所設置・運営事業」の発電事業者（事業候補者）について、応募のあった事業者の中から一定の基準により評価して、事業候補者を特定しました。

なお、今後は、事業候補者と事業を実現するための基本協定締結に向けて協議を開始致します。

■事業名

野村ダム新水力発電所設置・運営事業

■特定結果

事業候補者

グリーン電力エンジニアリング・長大共同事業体

（代 表）株式会社グリーン電力エンジニアリング

（構成員）株式会社長大

問い合わせ先

肱川ダム統合管理事務所ホームページ <https://www.skr.mlit.go.jp/hijikawadam>

X(旧 Twitter) https://twitter.com/mlit_nomura

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所 Tel: 0894-72-1211(代)

副所長 猪熊 敬三(イノクマ ケイゾウ) (内 204)

◎ 管理課長 多田 寛 (タダ ヒロシ) (内 331)

◎: 主な問い合わせ先

「野村ダム新水力発電所設置・運営事業」の 発電事業者（事業候補者）選定のための公募概要

「野村ダム新水力発電所設置・運営事業」は、野村ダムにおいて民間の資金、経営能力及び技術能力を活用し、効率的な整備及び維持管理・運営を実現するものです。

本公募は、肱川ダム統合管理事務所が、野村ダムの放流水を活用して水力発電事業（完全従属）を行う発電事業者（事業候補者）の提案を募集したものです。

本公募により特定された発電事業者（事業候補者）は、本ダムの放流水を活用した本発電所の設置運営に係る事業計画、資金計画、電気工作物等の設計・施工、管理運営等の取り組みについて、自らの責任において実施することとなります。また、事業候補者は、本発電所を設置・運営する際、特定多目的ダム法施行規則第7条に基づくダム使用权の設定申請等、必要な法令上の許可等手続及び四国地方整備局との基本協定締結が必要となります。

■事業箇所

一級河川肱川水系肱川（愛媛県西予市野村町野村地先）

■経過

令和7年1月15日：ハイブリッドの公募手続き開始

令和7年5月15日：参加申込の期限

令和7年5月29日：参加申込確認結果の通知

令和7年8月27日：企画提案書の提出期限

令和7年9月10日：提案者ヒアリングの実施

令和7年11月25日：事業候補者特定結果通知

■参考資料はこちらから

<https://www.skr.mlit.go.jp/hijikawadam/houdou/index.html>